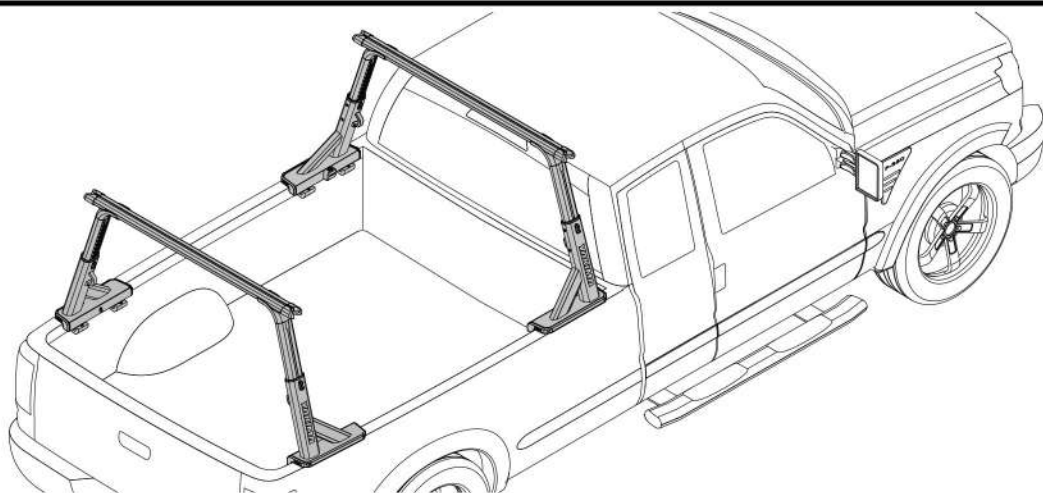
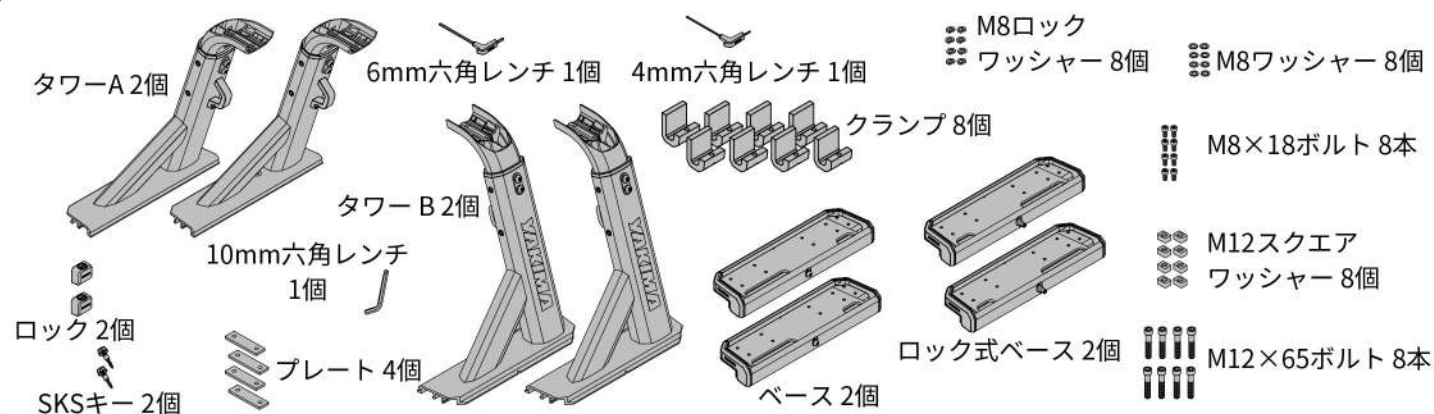




セット内容



耐荷重

オンロード：227kg
オフロード：136kg
停車時：363kg



クロスバー間隔が91cm未満の場合、最大耐荷重は40%減少します。

記載されている耐荷重は、オーバーハウルHDの最大値です。
積載耐荷重は、車両のルーフ耐荷重やお使いのベースキャリアの耐荷重に依存します。

おすすめアクセサリ

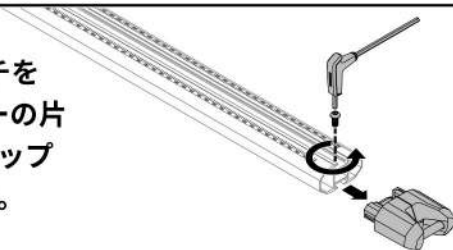


キャリアの積載には、HDバーが必要です。



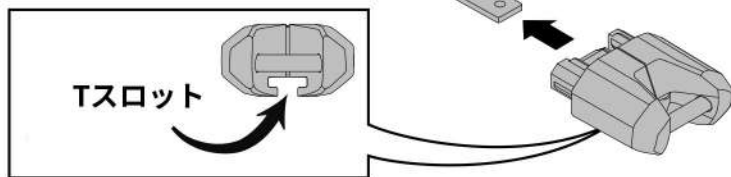
1

4mm六角レンチを使用し、HDバーの片方のエンドキャップを取り外します。

**2X****2**

プレートを取り付けます。

- 各クロスバーの底面(目盛りが刻印されている側)にプレートを2枚ずつ差し込みます。
- 各HDバーにエンドキャップを押し込んで取り付けます。エンドキャップのTスロットがバーの上面を向くようにしてください。



Tスロット

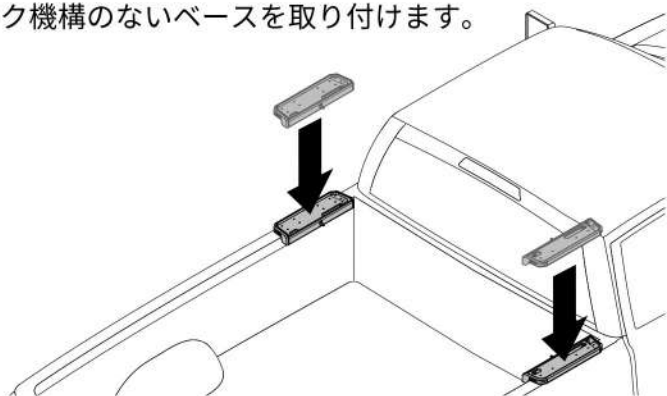
2.5 Nm

- 4mm六角レンチを使用し、エンドキャップを再取り付けし、2.5Nmのトルクで締め付けます。

2X**3**

フロント側のベースを取り付けます。

- 取り付け前に取り付け部を清掃してください。
- 左側にロック式ベースを取り付けます。
- 右側にロック機構のないベースを取り付けます。

**注意**

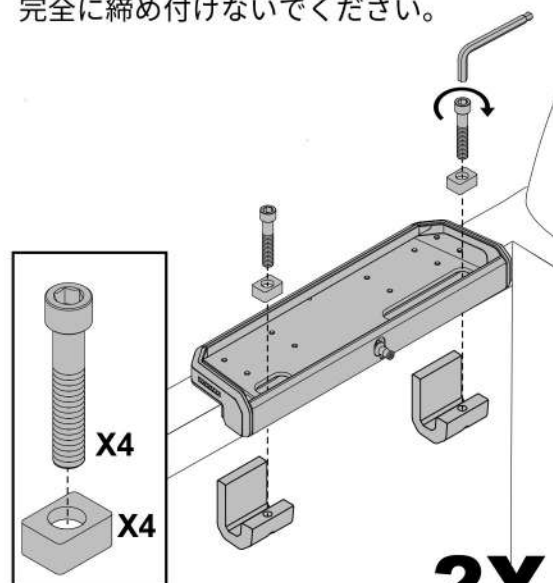
純正のトラックレール付き車両に取り付ける場合は、YAKIMAのベッドトラックキット(#8001168)をご使用ください。

トノカバー付き車両に取り付ける場合は、YAKIMAのトノカバーキットをご使用ください。

2X**4**

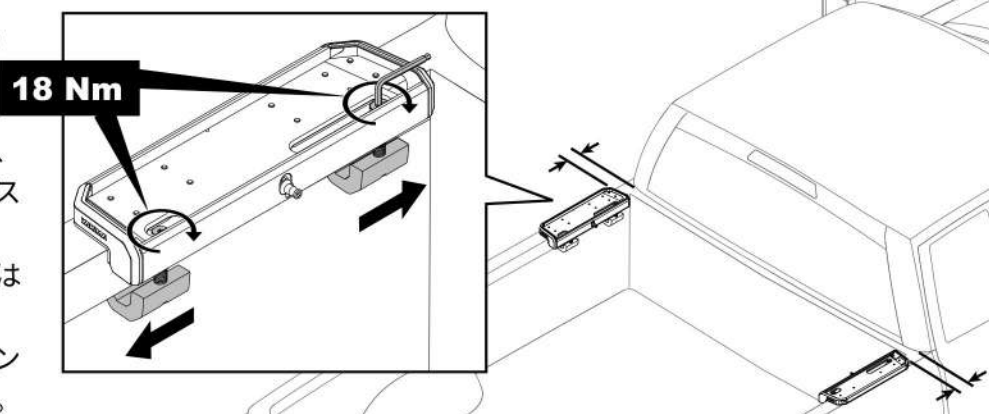
クランプを取り付けます。

10mm六角レンチを使用し、M12×65ボルトとスクエアワッシャーでクランプをベースに取り付けます。完全に締め付けしないでください。

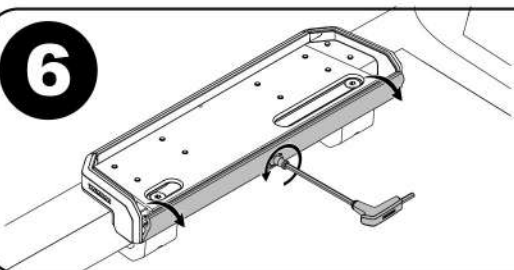
**2X**

5 寸法を測り、取り付けます。

- キャビンからベースまでの距離が、左右両側で等しくなるようにベースを配置してください。
- 各スロット内で、クランプの間隔はできる限り広く開けてください。
- 10mm六角レンチを使用し、クランプをトラックの淵に締め付けます。



6



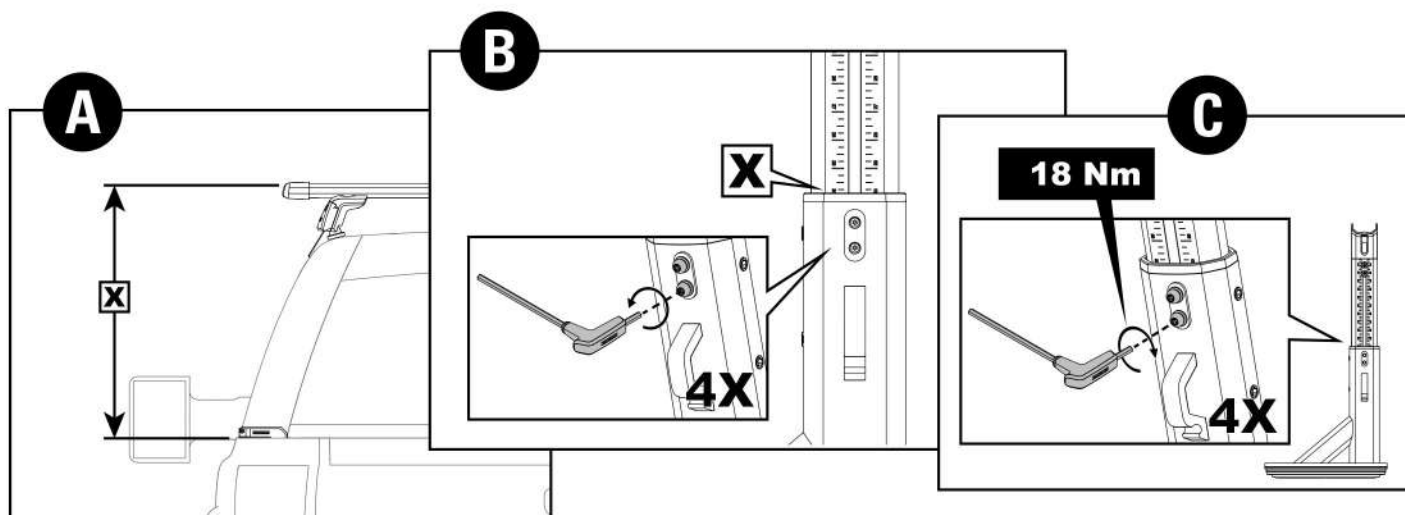
ベースを開きます。

4mm六角レンチと6mm六角レンチを使用し、バネ式レシーバーを緩めます。

2X

7 高さを調整します。

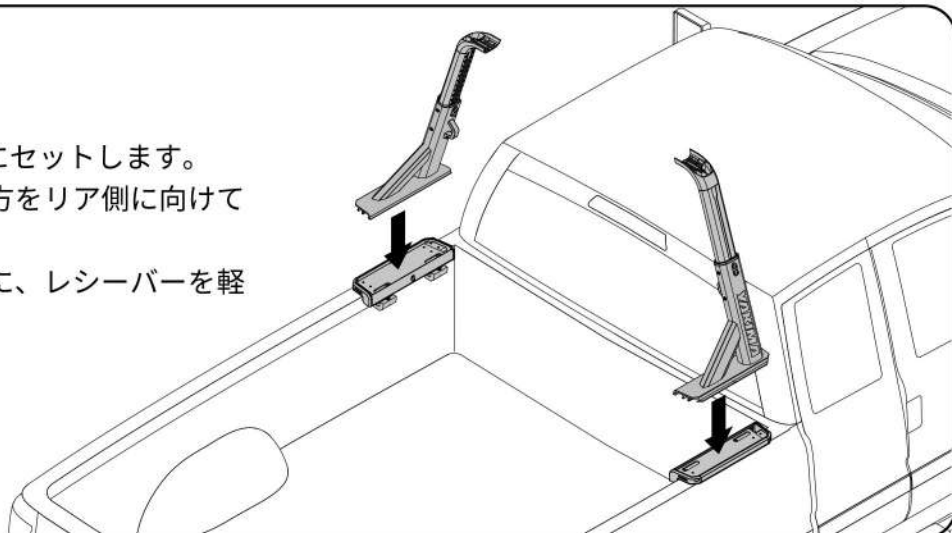
- 希望するクロスバーの高さを測定します。距離 x は、ルーフ面までの距離、または既存のラックのクロスバーまでの距離となります。
- タワーのボルトを緩め、支柱の目盛りを参考にしながら、各タワーを測定した値 x に合わせます。(測定値はインチ単位です。)
- 6mm六角レンチを使用し、タワーの4本のボルトを18Nmのトルクで締め付けてください。



4X

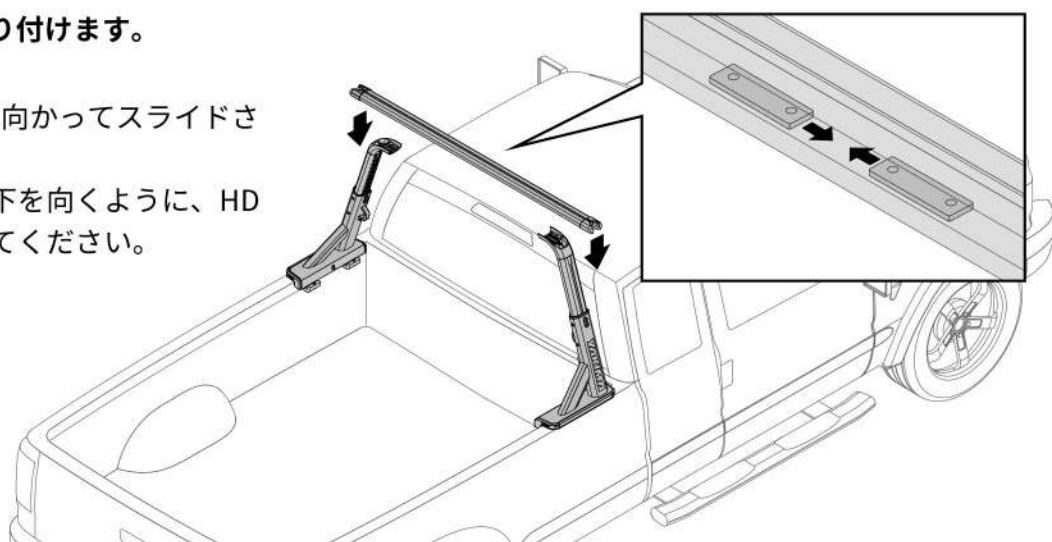
8 タワーをベースに設置します。

- タワーAとタワーBを1つずつベースにセットします。
- 図のように、タワーのベースの長い方をリア側に向けて設置してください。
- タワーを所定の位置に固定するために、レシーバーを軽く締めてください



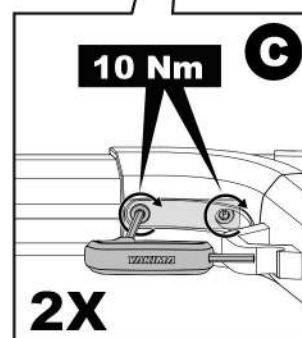
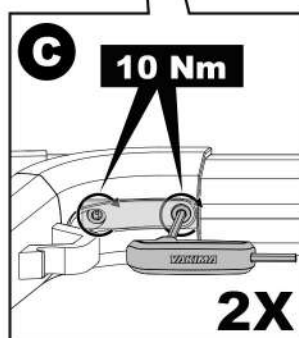
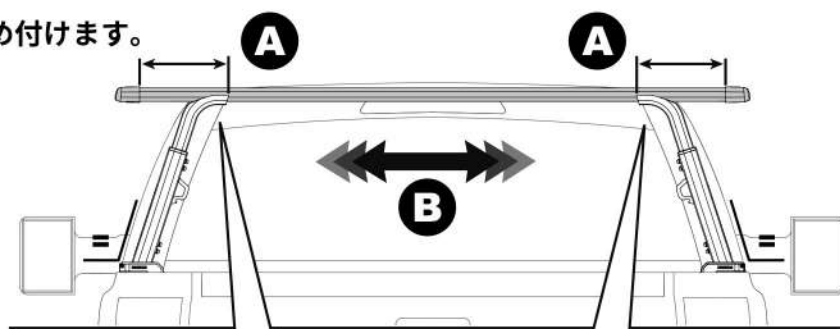
9 HDバーをタワーに取り付けます。

- プレートをHDバーの中央に向かってスライドさせます。
- プレートを差し込んだ側が下を向くように、HDバーをタワーの上に設置してください。



10 フロント側のクロスバーをタワーに締め付けます。

- ① クロスバーの長さを測定し、中央に合わせます。
- ② プレートをタワーの穴に合わせてスライドさせます。
- ③ 下図の金具を取り付け、6mm六角レンチを使用し、10Nmのトルクで完全に締め付けます。



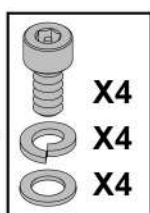
注意

タワーの角度が左右両側で一致していることを確認してください。

M8×18ボルト

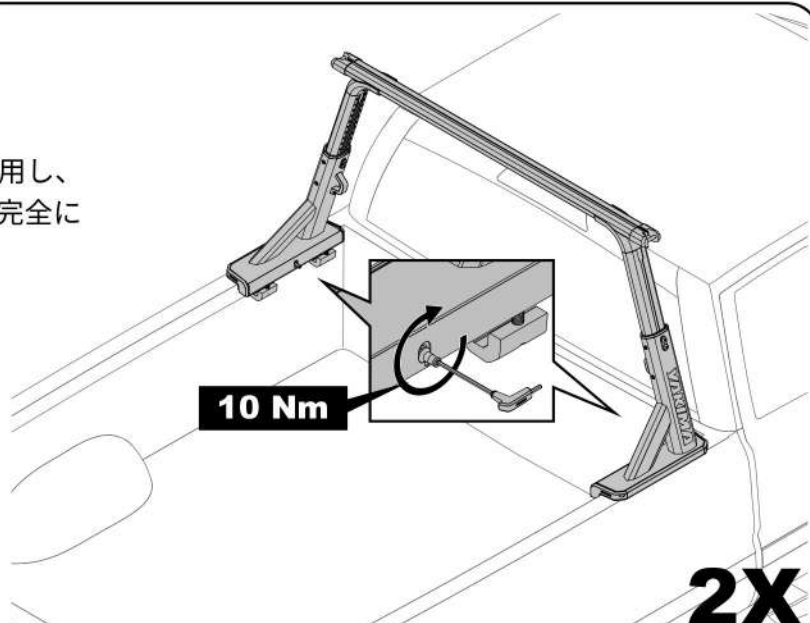
M8ロックワッシャー

M8ワッシャー



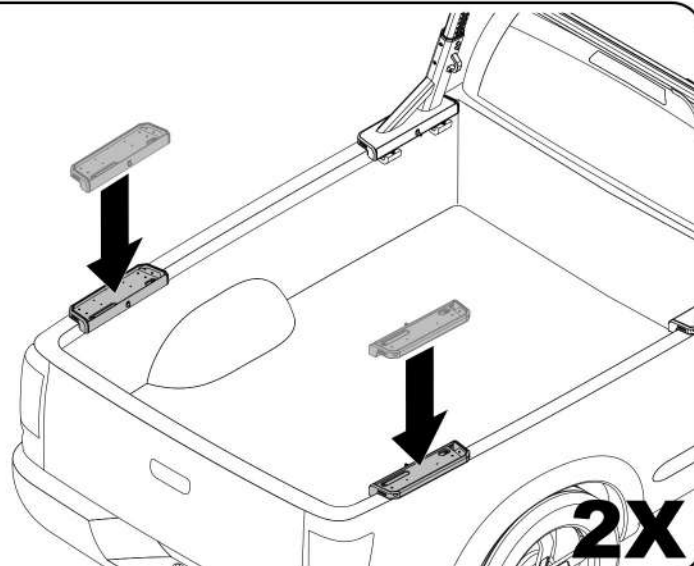
11 タワーをベースに締め付けます。

- 4mm六角レンチと6mm六角レンチを使用し、フロント側のベースを10Nmのトルクで完全に締め付けてください。



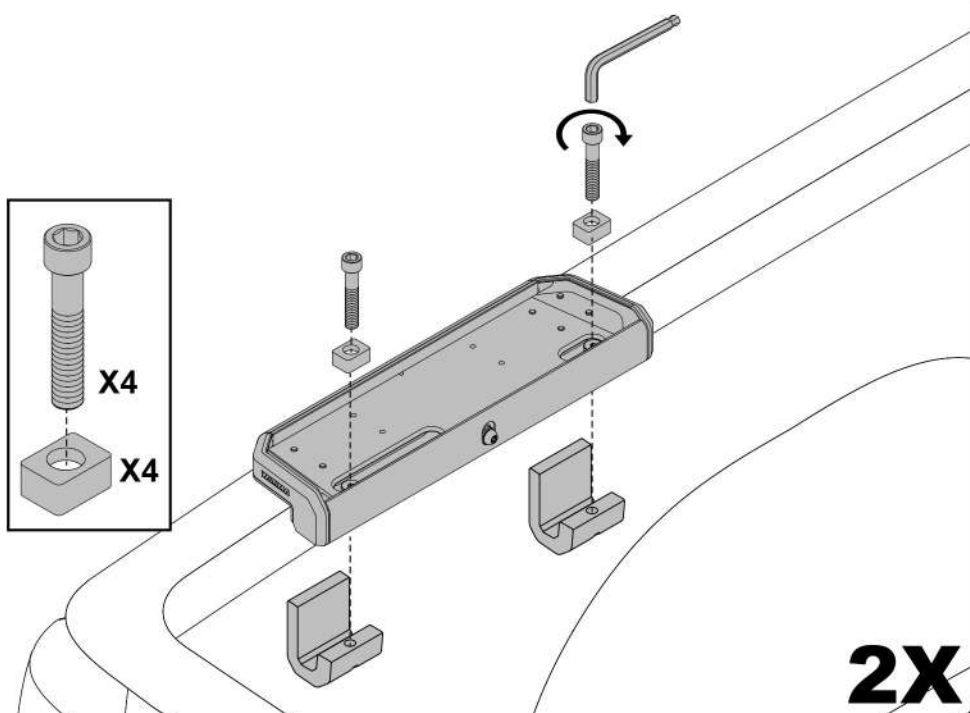
12 リア側のベースを取り付けます。

- 取り付け前に取り付け部を清掃してください。
- 左側にロック機構のないベースを取り付けます。
- 右側にロック式ベースを取り付けます。



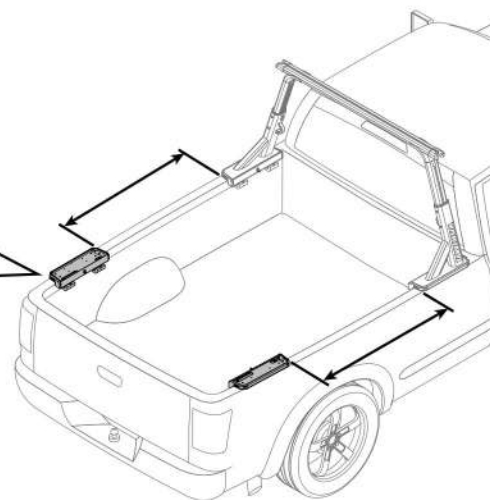
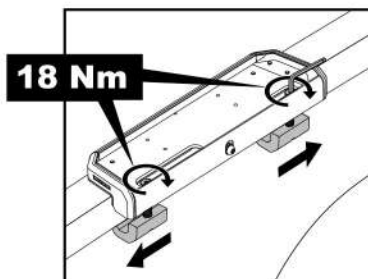
13 クランプを取り付けます。

10mm六角レンチを使用し、M12×65ボルトとスクエアワッシャーでクランプをベースに取り付けます。
完全に締め付けしないでください。



14 寸法を測り、締め付けます。

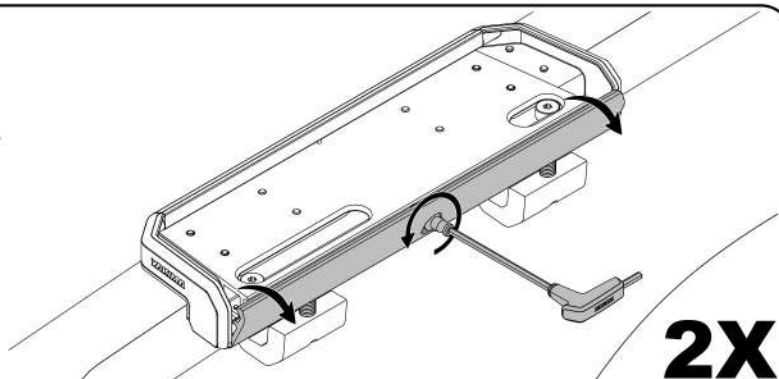
- フロント側に取り付けたベースからリア側のベースまでの距離が、左右両側で等しくなるように配置してください。
- 最大積載量を積載するには、クロスバー間隔を91cm以上にする必要があります。クロスバー間隔が91cm未満の場合、オンロード耐荷重は136kgに減少します。
- 各スロット内で、クランプの間隔はできる限り広く開けてください。
- 10mm六角レンチを使用し、クランプをトラックの淵に締め付けます。



クロスバー間隔	ベース間の距離
91cm	25.4cm
81~90cm	15~23cm

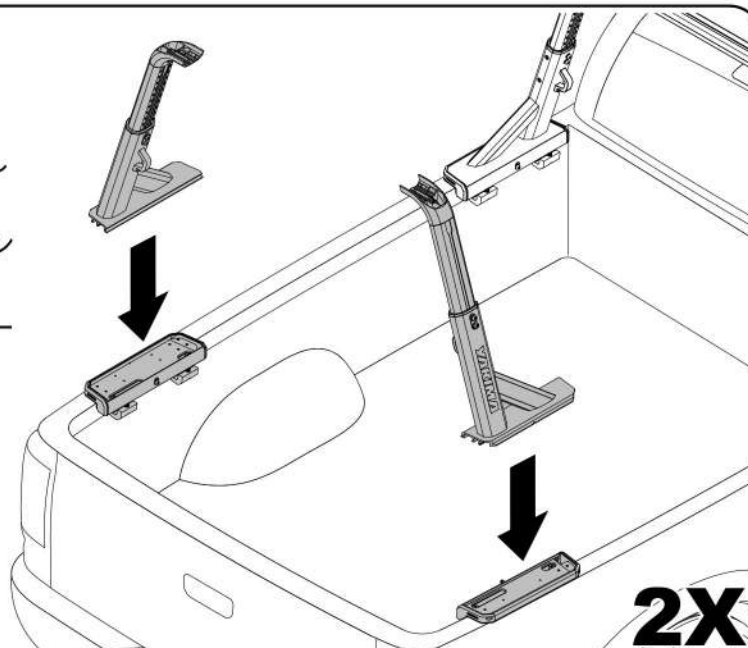
15 ベースを開きます。

4mm六角レンチと6mm六角レンチを使用し、バネ式レシーバーを緩めます。



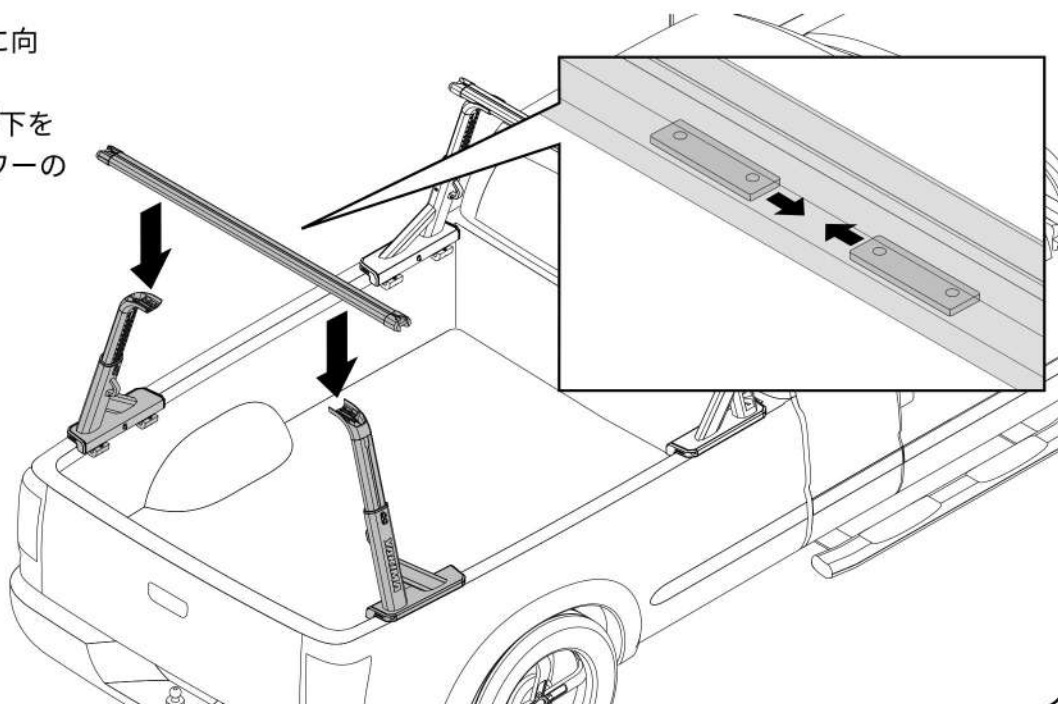
16 タワーをベースに設置します。

- タワーAとタワーBを1つずつベースにセットします。
- 図のように、タワーのベースの長い方をフロント側に向けて設置します。
- タワーを所定の位置に固定するために、レシーバーを軽く締めてください。



17 HDバーをタワーに取り付けます。

- プレートをHDバーの中央に向かってスライドさせます。
- プレートを差し込んだ側が下を向くように、HDバーをタワーの上に設置してください。

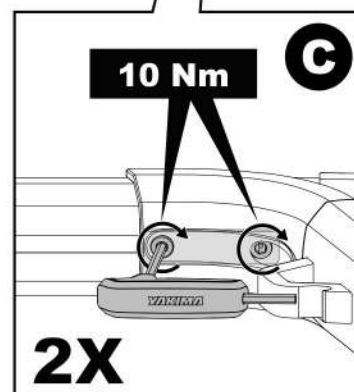
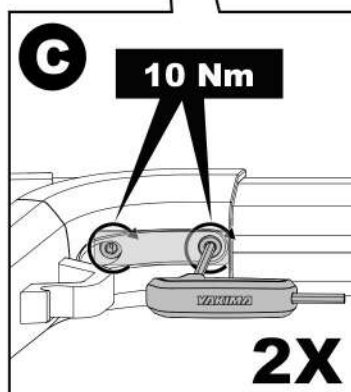
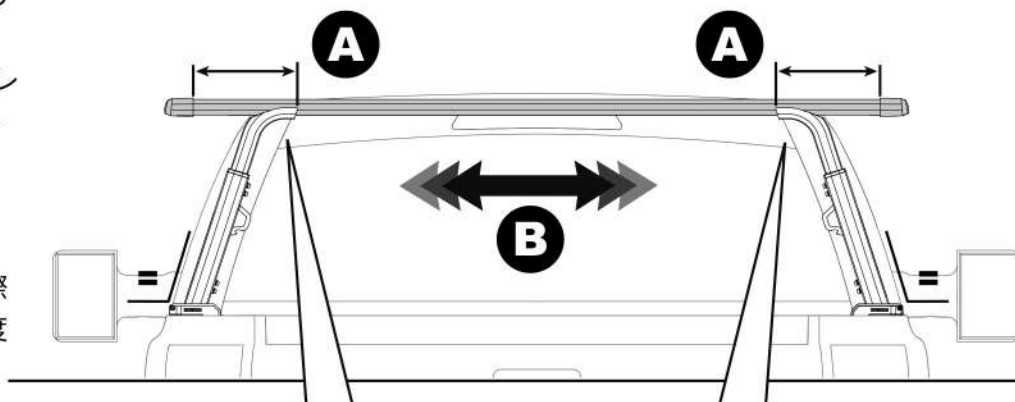


18 リア側のクロスバーをタワーに締め付けます。

- クロスバーの長さを測定し、中央に合わせます。
- プレートをタワーの穴に合わせてスライドさせます。
- 金具を取り付け、6mm六角レンチを使用し、10Nmのトルクで完全に締め付けます。

注意

リア側のタワーを締め付ける際は、フロント側のタワーの角度に合わせてください。



M8×18ボルト

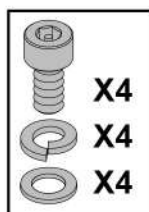
X4

M8ロックワッシャー

X4

M8ワッシャー

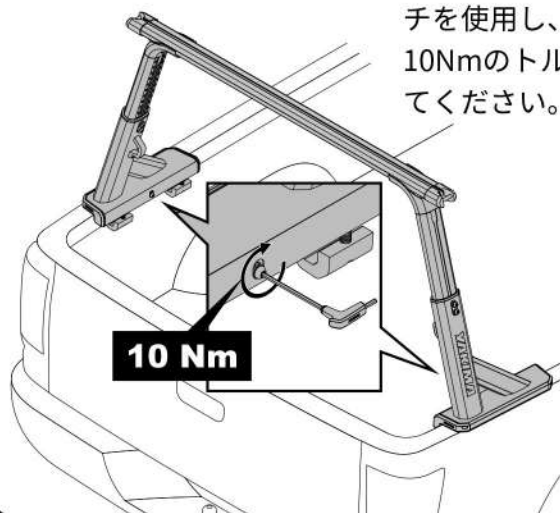
X4



19

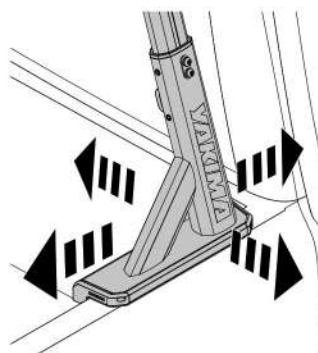
タワーをベースに締め付けます。

- 4mm六角レンチと6mm六角レンチを使用し、リア側のベースを10Nmのトルクで完全に締め付けてください。

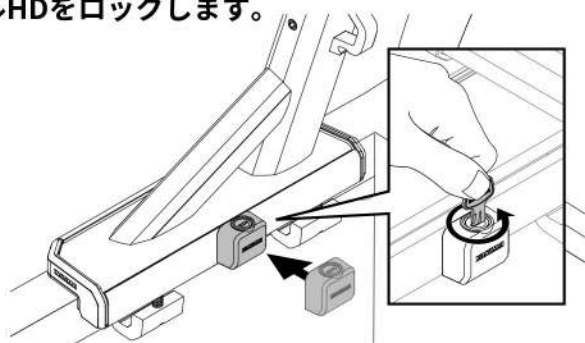
**2X****20**

タワーが固定されているかを確認してください。

- 各タワーがしっかりと固定されているか、前後左右に揺らし確認してください。必要に応じて、固定部品を再度締め付けてください。

**4X****21**

オーバーハウルHDをロックします。



- ロックをロックポストに取り付けます。
- SKSキーを使用し、ロックしてください。

2X

取り外し

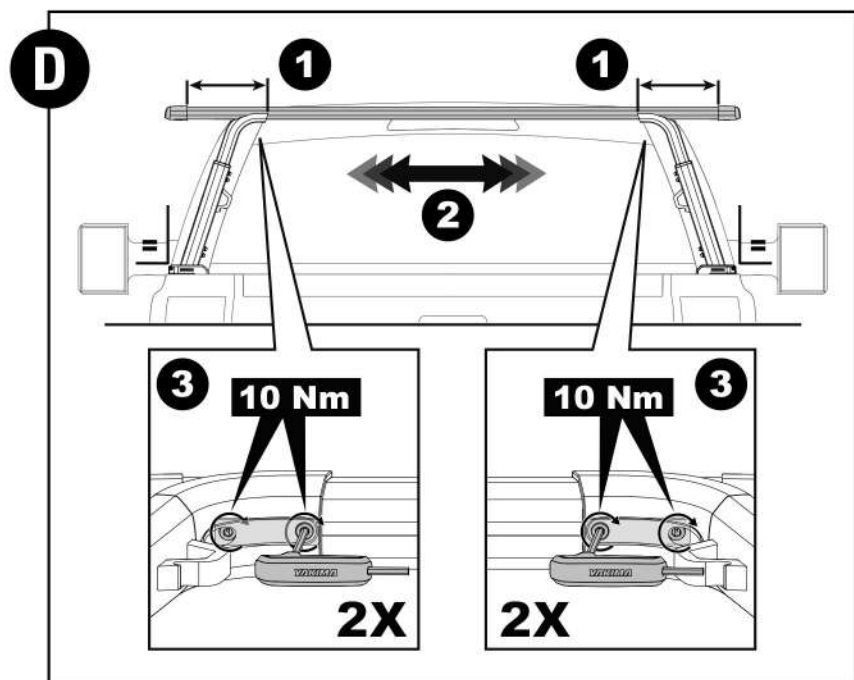
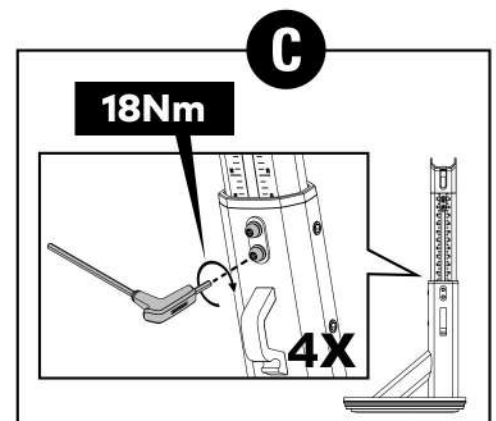
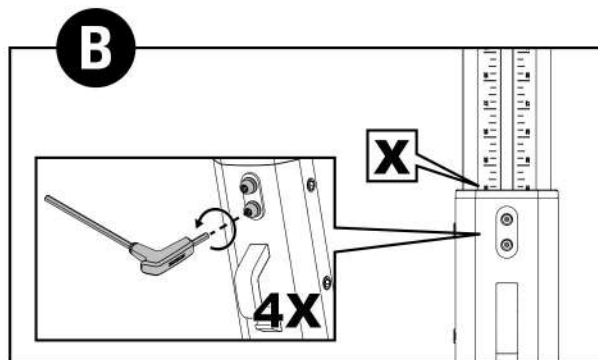
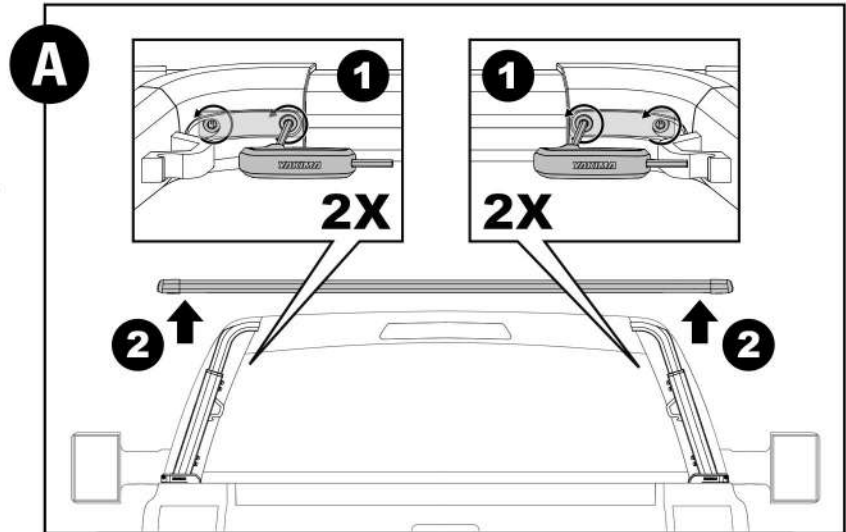
1. オーバーハウルHDのロックを解除します。
2. 4か所のバネ式レシーバーを緩めます。
3. いすれかのタワー1つをベースから外し、持ち上げて取り外します。
(必要に応じて、各HDバー片側の取り付け部を緩めてください。)
4. クランプとベースを緩めて取り外してください。

耐荷重

オーバーハウルHD本体重量(23kg)+積載物重量 = オンロード：最大227kg
オフロード：最大136kg

高さ調整

- ① HDバーを固定している金具を緩め、タワーから取り外します。
- ② 各タワーの固定金具を緩め、タワーの目盛りを参照し、高さを調整します。
- ③ タワーの固定金具を18Nmのトルクで締め付けてください。
- ④ HDバーを再取り付けし、中央に位置を合わせます。HDバーの固定金具を10Nmのトルクで締め付けてください。



2X

注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のような時に確認してください。

- ・ 出かける前
- ・ ラックまたは積載物を載せた後
- ・ 短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・ 長時間の移動では定期的に
- ・ 悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・ 車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモonium添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>